

政策	市民協働によるまちづくり	施策	自助・互助・公助のまちづくり	基本事業	市民活動団体の支援と相互連携		
部名	企画政策部	事業開始年度	平成16年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	企画課	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	大麻地域のまちづくり団体
意図	地域住民が連携を図りながら地域活動に取り組むことにより、高齢者が住みやすいまちを築く。
手段	地域の市民で構成する「高齢者が住みやすいまちづくり推進会議」(情報&交流拡大プロジェクト運営チーム、安心住まい確保プロジェクト運営チーム、食のたまり場づくりプロジェクト運営チーム)が主体となり、大学や団体等との連携を図る中で、交流の場づくりや生活支援事業等を試し、市民の多様なニーズに対応できる仕組み作りを行う。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	高齢者が住みやすいまちづくり推進会議構成員数	人	18	22	22	22	
対象指標2							
活動指標1	補助金額	千円	1,062	657	50	50	
活動指標2							
成果指標1	高齢者が住みやすいまちづくり推進会議の事業数	件	6	6	3	3	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	1,062	657	50	50	0
正職員人件費(B)		千円	4,179	4,149	4,164	2,037	0
総事業費(A)+ (B)		千円	5,241	4,806	4,214	2,087	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			